

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	人権文化のつどい事業										事業コード	030101420239				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造								
	施 策 名	2 人権を尊重した地域生活の確立							施策コード	312						
事業担当	所 属	021200 市民生活部人権推進室					所属長	四方 幸生								
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	102・103		頁
計画期間	開始年度	平成元年度		終了予定年度	令和14年度		関連計画名	福知山市人権施策推進計画					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 障害者差別解消推進法 ヘイトスピーチ解消法 部落差別解消推進法 人権尊重推進条例 福知山市人権尊重推進条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 外出をしづらかったり、地域交流が減りがちな高齢者の方への人権啓発の場が少ない。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 本市の高齢者の方自身が地域社会に出て、他者と交流を深めながら人権について学ぶ機会が必要である。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 外出の機会や地域との交流が減りがちな高齢者の方への人権啓発の場「京都府人権文化のつどい」(主催：一般財団法人京都府部落解放推進協会が主催)へ参加することで、人権啓発と参加者間の交流の機会を創出し、人権を尊重した地域生活の確立をめざす。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 「京都府人権文化のつどい」(毎年9月ごろ開催)への参加者の募集及び負担金支援、巡回バスの借上げなど										
対象者	事業に参加する高齢者					対象者数	140		単位あたりコスト	8.9	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	496		469		480		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		496		469		480		0						
予算財源内訳	① 一般財源	426		409		420		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	70		60		60		0						
決算情報	① 流充用額	△ 50		△ 21										
	② 配当予算	446		448										
	③ 執行額	365		448										
	④ 執行率	81.8%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.10	/	0.00	0.10	/	0.00	/						
	② 概算人件費	800		800										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,165		1,248										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	人権文化のつどい参加者負担金		種類	雑入		実績金額	51		決算附属資料	46		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	94	96	102				
		目標値		140	140	140	140	140		
	参加者数	達成度		%	67%	69%	73%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	団体	7	7	7				
		周知機関数		当初見込	7	7	7	7	7	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	京都府人権文化のつどい実施1～2か月前に、人権ふれあいセンター等のデイサービスの実施施設、福知山市老人クラブ連合会を通じて参加者を募集する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年度から3年度まで事業が中止となったこともあり、参加者が少なくなっていたが、少しずつ増加してきており令和6年度は102人の参加があり増加傾向となった。多くの高齢者の方が福知山市だけでなく他市からの参加者とも交流を深め、地域社会での人権学習へとつなげることができた。 ・参加当日、参加者の高齢者の方へ近年の人権に係る状況の説明や啓発資料の配布を行い、人権意識の啓発の機会とすることもできた。
	・デイサービスの実施施設や福知山市老人クラブ連合会などと連携しながら、より多くの高齢者の方の参加を呼びかける。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	人権推進一般事務事業										事業コード	030101730101			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造						
	施 策 名	2 人権を尊重した地域生活の確立								施策コード	312				
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室						所属長	四方 幸生						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	109	頁
計画期間	開始年度	平成14年度		終了予定年度	令和14年度		関連計画名	福知山市人権施策推進計画				R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 障害者差別解消推進法 ヘイトスピーチ解消法 部落差別解消推進法、福知山市人権尊重推進条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 人権推進室全体の事務を円滑に進める。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 日常的に使用する消耗品(PPC用紙等)が物価上昇の影響で高騰している。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 人権推進室の事務の円滑な執行を図る。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 人権推進室内で使用する用品の管理・点検。 人権推進室の事務経費の支出。 公用車の維持管理経費の支出。									
対象者	市民				対象者数	75,000		単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,370		1,421		1,235		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		1,370		1,421		1,235		0					
予算財源内訳	① 一般財源	937		1,121		1,235		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	433		300		0		0					
決算情報	① 流充用額	362		951									
	② 配当予算	1,732		2,372									
	③ 執行額	1,730		2,358									
	④ 執行率	99.9%		99.4%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.91	/	0.70	0.84	/	0.65	/					
	② 概算人件費	9,240		8,540									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		10,970		10,898									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	-	-	-	-	-	-	
	定性的評価		目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回	10	10	10			
	会議等の参加回数									
					当初見込	10	10	10	10	10
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	京都府や他市の人権関連部署や関係団体等と人権施策等について協議を行う。									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 人権推進室で必要となる事務経費の支出を行っており、円滑な事務執行を行っている。 適正な事務執行とコスト削減は常に行っていく必要がある。 【定性的評価】室内の事務経費のため
現状の課題に対する改善策	適正な事務執行とコスト削減に向けた取り組みを継続していく。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	部落解放運動補助事業										事業コード	030101730103			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造						
	施 策 名	2 人権を尊重した地域生活の確立								施策コード	312				
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室						所属長	四方 幸生						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	109	頁
計画期間	開始年度	昭和46年度		終了予定年度	令和14年度		関連計画名	福知山市人権施策推進計画				R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 障害者差別解消推進法 ヘイトスピーチ解消法 部落差別解消推進法、福知山市人権尊重推進条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 部落問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向け、人権問題・部落差別の現状の把握に努めている。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 人権問題・部落差別の現状について、行政の視点だけでなく現場および当事者の声を聴くため、日頃から部落解放運動や啓発に関わる市民団体と情報共有を行うなど、十分な協働支援体制が必要である。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 部落問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けて、市民団体等と市の連携を基本とした取組を進めていくため、必要な補助金を交付し、差別の解消を図る。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 差別解消に向けた市民との協働関係の構築を推進するため、部落解放運動による人権問題の解決に向けた取り組み、啓発活動等の事業を実施する団体に対して補助金の交付を行う。 人権問題・部落差別の現状について、情報共有や協議を行う。									
対象者	市民				対象者数	75,000		単位あたりコスト	0.0	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,000		1,000		1,000		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		1,000		1,000		1,000		0						
予算財源内訳	① 一般財源	1,000		1,000		1,000		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	1,000		1,000										
	③ 執行額	1,000		1,000										
	④ 執行率	100.0%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全時年度任用職員)	0.13	/	0.00	0.10	/	0.00	/						
	② 概算人件費	1,040		800										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,040		1,800										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称				種類			実績金額			決算附属資料			頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	回	20	20	20			
	人権施策推進のための協議回数	目標値		12	12	12	12	12	
		達成度	%	167%	167%	167%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	団体	1	1	1			
	市民団体への補助金の交付。	当初見込		1	1	1	1	1	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	部落解放運動による人権問題の解決に向けた取り組み・啓発活動等の事業を実施する団体に対して補助金を交付する。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 市民団体と市職員と一緒に全国集会等に参加し、人権問題の現状や当事者の声などを学習することにより人材育成に寄与した。 補助金の交付については、活動内容の点検、精査を行い、適正化に努めるとともに、協働支援体制による取組を進めることができた。								
現状の課題 に対する 改善策	部落問題をはじめとする人権問題の解決に向けて、市民団体と協働支援体制で取組を進めていく。								

(単位：千円)

II 事業基礎情報

III 予算執行状況

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	人権問題啓発事業補助金	種類	民生費府補助金	実績金額	614	決算附属資料	22	頁
				7					

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	0	29	25			
	ファシリテーター養成講座受講者	目標値		30	30	30	30	30	
		達成度	%	0%	97%	83%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	0	1	1			
	ファシリテーター養成講座実施回数	当初見込		1	1	1	1	1	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市民が参加しやすいよう、講座について、講演内容や実施時期などの検討を行う。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること That'sRight、広報ふくちやま人権週間特集号の啓発冊子の配布や企業等の人権研修に対する補助事業により、地域や職場で人権問題について考えてもらう機会を提供できた。 ファシリテーター養成講座や職員人権人材バンクの研修を実施し、人権問題の解決を推進していく人材育成に繋がった。								
現状の課題 に対する 改善策	啓発冊子や補助事業の実施により、地域や職場での人権意識の向上を図るとともに、ファシリテーター養成講座や職員人権人材バンクでは人権問題の解決を推進していく人材の育成を行う。								

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	663	508	473			
		目標値		700	700	700	700	700	
	報告会・講演会の参加者数(展示のみは除く)		達成度	%	95%	73%	68%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	8	7	11			
	沖縄・長崎現地研修への参加者数	当初見込		8	8	12	12	12	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	生徒が、現地学習を深め、各地での報告会や各種人権講演会の参加をすることで、平和や人権について、市民、特に若年層に啓発を進めていく。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・加盟している平和に関する団体より提供を受けたポスター等を活用し、ミニミニ原爆展の開催や核兵器禁止条約への参加を求める署名活動などを実施するなど市民に平和の尊さについて啓発することができた。また、図書館の協力により原爆のパネル展示と平和人権に関する図書 の同時掲示平和とはのメッセージカードの作成も実施し広く啓発することができた。 ・現地での学習は、高校生にとって戦争の惨禍や体験者の思いを直接感じることができるため、長崎平和学習の旅・沖縄人権文化体験研修については、継続して実施する必要がある。 ・若者への戦争や平和に関する意識の向上が課題	
現状の課題 に対する 改善策		
	・人権の輪つながり広がり事業を実施することで、本市の実施している人材育成事業への継続した参加につながってはいるものの、子どもたちへの事業目的については意識づけをしっかりとすることにより子どもたちが継続した学習ができるようにすることが必要。 ・人材育成事業であることを踏まえ、長崎平和学習の旅・沖縄人権文化体験学習・広島平和学習行動・9館合同社会体験交流研修と連携して報告会、異年齢交流の実施を計画しより効果的な人材育成を推進していく。 ・終わりが見えないウクライナや中東での情報が多く発信されている今こそ、若者に対し、最大の人権侵害である戦争や平和についての意識を高める取り組みを実施する。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	人にいちばん近いまちづくり推進事業										事業コード	030101730204			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造						
	施 策 名	2 人権を尊重した地域生活の確立								施策コード	312				
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室						所属長	四方 幸生						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	110	頁
計画期間	開始年度	昭和53年度		終了予定年度	令和14年度		関連計画名	福知山市人権施策推進計画				R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 障害者差別解消推進法 ヘイトスピーチ解消法 部落差別解消推進法 福知山市人権尊重推進条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 人権侵害被害者救済システムの構築をめざす「人にいちばん近いまちづくり福知山市実行委員会」の活動の支援を行う。 行政の責務である市民に対する人権教育・啓発の実施。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 人権侵害被害者救済システムの構築のため、国や京都府及び府内各自治体との連携が必要。 人にいちばん近いまちづくり実行委員会 広報啓発部会と連携した市民に対する人権教育・啓発の実施。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 国や京都府及び府内各自治体の実行委員会と連携して、人権侵害被害者救済システムの構築をめざす「人にいちばん近いまちづくり福知山市実行委員会(26団体と自治会組織、個人で構成)」の活動を支援する。また、同実行委員会の「広報啓発部会(8の市民団体に構成)」を中心に、人権を守りあうことは、社会生活の基本であり、みんながいきいきと暮らせる社会を築くため、市民が主体となった人権尊重のまちづくりを進め、『幸せの舞台…福知山』の創造をめざす。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 人にいちばん近いまちづくり福知山市実行委員会の主催する活動(国や府の実行委員会で開催される講座への参加、市民向け講座の開催など)への支援 人にいちばん近いまちづくり福知山市実行委員会の広報啓発部会を中心に、8月の人権協調月間、12月の人権週間にあわせて講演会などの人権啓発事業の実施									
対象者	市民				対象者数	75,000		単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,586		1,472		1,291		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		1,586		1,472		1,291		0						
予算財源内訳	① 一般財源	1,144		1,087		983		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	442		385		308		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 4		△ 101										
	② 配当予算	1,582		1,371										
	③ 執行額	1,377		1,358										
	④ 執行率	87.0%		99.1%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.48	/	0.35	0.41	/	0.30	/						
	② 概算人件費	4,820		4,120										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,197		5,478										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	人権問題啓発事業補助金			種類	民生費府補助金		327		実績金額	決算附属資料	22		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人	473	555	500			
		目標値		700	700	700	700	700	
		講演会参加者数	達成度	%	68%	79%	71%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	2	2			
		講演会の開催回数							
		当初見込		2	2	2	2	2	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 令和6年8月26日(月)実施 人にいちばん近いまちづくり第57回人権を考える市民のつどい(平和と人権) 令和6年12月4日(水)実施 人にいちばん近いまちづくり第58回人権を考える市民のつどい(インターネットと人権) いずれもパワーポイントや動画を用いての講義形式								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人	473	555	500			
		目標値		700	700	700	700	700	
		講演会参加者数(成果指標及び成果実績①と同じ)	達成度	%	68%	79%	71%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	3	3	2			
		広報啓発部会の開催							
		当初見込		3	3	3	3	3	
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 市民が参加しやすい講演会づくりのため、講演内容や実施日時などについて、人にいちばん近いまちづくり福知山市実行委員会 広報啓発部会と連携し検討・当日の運営を行う。								

Ⅴ 事業担当所 属内による自己点検

定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること								
	人権侵害被害者救済システムの構築については、国や京都府及び市内の各自治体と連携し、行動要請等に参加するなど全国の人権に関する動向の情報共有をすることができた。 8月の人権強調月間事業、12月の人権週間推進事業では、それぞれ人権・平和に関する講演会、インターネット上の人権侵害に関する講演会を実施し、市民に対して広く人権啓発を行うことができた。 講演会参加者数について、会場を満席とした場合を目標値としているが、達成できていない。								
現状の課題 に対する 改善策	市民が主体となった人権尊重のまちづくりを進めるため、人にいちばん近いまちづくり福知山市実行委員会 広報啓発部会と連携し、より多くの市民に人権啓発が行えるような講演会を実施していく。 市民からの関心の高い話題や講師を選定のうえ開催内容を検討し、加えて早期から広報や周知に取り組み、来場者数の増加をめざす。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	人権擁護委員活動事業										事業コード	030101730209				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施 策 名	2 人権を尊重した地域生活の確立								施策コード	312					
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室						所属長	四方 幸生							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	110		頁
計画期間	開始年度	昭和54年度		終了予定年度	令和14年度		関連計画名	福知山市人権施策推進計画					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	人権擁護委員法 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 障害者差別解消推進法 ヘイトスピーチ解消法 部落差別解消推進法 福知山市人権尊重推進条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 人権擁護委員協議会、京都地方事務局と連携し、市民の人権侵害の救済を図る。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 人権擁護委員協議会、京都地方事務局と連携、情報共有を行い、市民の人権侵害の救済につなげていく必要がある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 福知山市、綾部市の人権擁護委員で組織されている福知山人権擁護委員協議会の活動について、福知山市、綾部市の2市で支援し、人権侵害の被害者の救済と人権が尊重されたまちづくりに資することを目的とする。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・福知山人権擁護委員協議会(福知山市19名、綾部市8名)の活動支援 人権問題に関する相談、啓発活動 ・人権の花運動推進事業 法務省の人権啓発活動地方委託事業として、人権擁護委員が市内の幼稚園・保育園・こども園・小学校3(園・校)において、京都府の人権の花である水仙の植え付けと人権教室を開催し啓発を行う。									
対象者	市民				対象者数	75,000		単位あたりコスト	0.0	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	713		711		711		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		713		711		711		0						
予算財源内訳	① 一般財源	513		509		509		0						
	② 国支出金	200		202		202		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		△ 50										
	② 配当予算	713		661										
	③ 執行額	615		632										
	④ 執行率	86.3%		95.6%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.12	/	0.14	0.12	/	0.14	/						
	② 概算人件費	1,352		1,352										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,967		1,984										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	人権啓発活動委託金			種類	民生費国庫委託金		実績金額	123		決算附属資料	20		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績	人	245	130	135		
	人権の花参加者		目標値		200	200	200	80	100
			達成度	%	123%	65%	68%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績		4	3	3		
	人権の花運動実施箇所数		箇所	当初見込	3	3	3	3	3
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	人権の花運動を含む、人権擁護委員の活動についての啓発								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績	—	—	—			
	【定性的評価】		目標値		—	—	—	—	—
			達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回	47	52	52		
	人権相談実施回数		当初見込		52	52	52	52	52
活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	福知山市役所本庁および各支所においての毎月の特設人権相談の実施。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	令和6年度は2校、1園で人権の花運動を実施し、水仙の花を育てることや人権学習によって、命の大切さや相手への思いやりについて啓発を行うことができた。 人権相談については、市役所及び各支所の4か所で実施することができた。 成果指標及び成果実績①について、例年同じ人数を目標値としていたが、実際は市内の小学校・幼稚園・保育園・子ども園の中から人権擁護委員および法務局により毎年選定される2校1園を対象として事業を行っており、さらに対象校・園側で対象の学年等が決定されるため、参加者数の上限が年度によって異なる。年度当初に対象校・園と対象の学年等とその人数が通知されるので、今年度よりその人数を目標値に改める。 【定性的評価】成果指標及び成果実績②:「また相談に行きたい」「専門的なところに繋いでもらえた」「〇月〇日に相談を受けてくださった委員さんにもう一度話をしたい」など、市民の方からご連絡いただくことがあり、抛りどころにさせていただいていると感じられた。	
現状の課題 に対する 改善策	人権の花運動や人権擁護委員による人権相談などを通じて、人権擁護委員協議会、京都地方法務局と連携し情報共有を行い、市民の人権侵害の救済を図る。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	差別を許さない人材育成事業										事業コード	030101730223			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造						
	施 策 名	2 人権を尊重した地域生活の確立								施策コード	312				
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室						所属長	四方 幸生						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	110・111	頁
計画期間	開始年度	平成14年度		終了予定年度	令和14年度		関連計画名	福知山市人権施策推進計画				R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 差別を許さない人材育成計画 福知山市人権尊重推進条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 「差別を許さない人材育成基本計画」を策定し、その具現化を図るため、子どもによる組織化を図り、差別に負けない人権リーダーとして人材の育成を図っている。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・STAR(差別を許さない子ども育成協議会)に参加する子どもたちの減少 ・継続して参加する子どもたちの減少										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) STAR(差別を許さない子ども育成協議会)を組織し、子どもたちの主体的な活動や交流による仲間づくりを行うなかで人権問題について理解を深め、あらゆる差別を許さず見逃さない心豊かな人権感覚を持ったリーダーとなる子どもの育成をめざし、互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造につなげる。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること <STARによる活動> ・人権ワークショップ ・ヒューマンフェスタ(映画上映) ・障害のある人・多文化共生への理解を深める ・平和人権学習への参加										
対象者	福知山市内在住小・中・高校生					対象者数	9,000		単位あたりコスト	0.5	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	706		706		567		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		706		706		567		0					
予算財源内訳	① 一般財源	405		405		309		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	301		301		258		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	0		△ 306									
	② 配当予算	706		400									
	③ 執行額	622		400									
	④ 執行率	88.1%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全庁年度任用職員)	0.49	/	0.60	0.37	/	0.45	/					
	② 概算人件費	5,600		4,220									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,222		4,620									
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	人権問題啓発事業補助金		種類	民生費府補助金		実績金額	169		決算附属資料	22		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人	15	11	12			
		目標値		20	20	20	20	20	
	子ども会員登録者数		達成度	%	75%	55%	60%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	事業	5	11	8			
	小学生、中学生対象育成事業の年間事業数	当初見込		8	8	8	8	8	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	STARに参加する子どもの人数を増やし、差別を許さない人権意識の高い人材の育成を図る事業の実施								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・活動を続けていることで子どもたちの主体的な活動につながっており、学校や地域、学年を超えた交流をする中でさまざまな人権問題について理解を深める機会となっているが、会員数が減少しており、今後、会員募集啓発をして会員増加を図ることが喫緊の課題 ・小学生で会員登録をし活動していた子どもたちが中学生になるとなかなか参加できない状況になる傾向があり、人権問題について理解と認識を深め、差別を許さず見逃さない豊かな人権感覚を育てていくために継続した地道な活動が必要となる。 ・時代に合わせた活動内容の再考が必要	
現状の課題 に対する 改善策	・会員を増やすことを目的に募集チラシの修正や配布できる講演会等での募集チラシの配布やSTARの紹介パネルを掲示し啓発をし理解を求めていく。 ・心豊かな人権感覚を持ったリーダーになるため、どのような活動が必要か、会員同士でも検討する。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	共に幸せを生きるまちづくり人権講座事業										事業コード	030101730231		
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造					
	施 策 名	2 人権を尊重した地域生活の確立								施策コード	312			
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室						所属長	四方 幸生					
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	111	頁
計画期間	開始年度	平成元年度		終了予定年度	令和14年度		関連計画名	福知山市人権施策推進計画				R7現在の状況		継続中
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 差別を許さない人材育成計画 福知山市人権尊重推進条例													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・人権問題の解決にあたり更なる啓発の必要がある。 ・令和5年度より人権尊重推進条例が施行 ・いまだに解消されていない部落差別									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・人権講演会への参加者の減少 ・人権課題へあらゆる世代が参加できる人権講演会のテーマの選定									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つ「共に幸せを生きる」共生社会の実現に向けて、予断や偏見による差別や人権侵害を解決するために、人権講演会や研修会、ワークショップを行い、人権問題を正しく理解するとともに、一人ひとりがかけがえのない存在であることを認識し、人権が尊重され、誰もが幸せに生きることができるまちづくりを進める。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・地域公民館、保育園・幼稚園・子ども園・小学校・中学校と共催の人権講座 ・教育集会所との共催人権講座									
対象者	市民・福知山市在勤者				対象者数	83,000		単位あたりコスト	0.0	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予 算 情 報	① 当初予算	1,219		1,613		1,292		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		1,219		1,613		1,292		0						
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	610		610		414		0						
	② 国支出金	0		394		464		0						
	③ 府支出金	609		609		414		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決 算 情 報	① 流充用額	0		△ 100										
	② 配当予算	1,219		1,513										
	③ 執行額	885		1,513										
	④ 執行率	72.6%		100.0%										
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.09	/	0.30	0.01	/	0.35	/						
	② 概算人件費	1,560		1,060										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,445		2,573										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	人権啓発活動委託金		種類	民生費国庫委託金		実績金額	453		決算附属資料	20		頁
			人権問題啓発事業補助金			民生費府補助金			490			22		
						17								

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	2045	2579	3727			
		目標値		3000	3000	3000	3000	3000	
	講座への参加者数	達成度		%	68%	86%	124%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	27	30	35			
		当初見込		40	40	40	40	40	
	講座の実施回数								
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	人権講座の実施回数を増やし、講演会への参加者数を増やすことで、市民の人権意識を向上させる。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	・地域公民館・保育園・幼稚園・子ども園・小学校・中学校・PTAとの共催や企業人権教育講座として実施することであらゆる世代を対象とした講座を実施することができている。また、地域のニーズにあった講座内容の検討や毎年同じ課題にならないよう工夫して実施をしている。 ・人権尊重推進条例や第4次人権施策推進計画に基づき、今後も引き続き、時代に即した効果的な人権講演会を計画的に実施していく。	
現状の課題 に対する 改善策	今後も地域のニーズにあった講座内容と新しい人権課題の人権講座が実施できるよう考えていく。 「人権尊重推進条例」と「第4次人権施策推進計画」の趣旨に基づき、参加者同士で意見交換をするような人権講演会を実施する。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	インターネットモニタリング事業										事業コード	030101730249			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施 策 名	2 人権を尊重した地域生活の確立								施策コード	312				
事業担当	所 属	021200 市民生活部人権推進室					所属長	四方 幸生							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	111	頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和6年度		関連計画名	福知山市人権施策推進計画				R7現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 障害者差別解消推進法 ヘイトスピーチ解消法 部落差別解消推進法 福知山市人権尊重推進条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 インターネットやスマートフォンが普及する中、同時に差別書き込み等について問題となっており、本市に関する差別的な内容についてもインターネット掲示板等で書きこまれる可能性がある。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 差別書き込みに関しては、一度書き込まれると、世界中の多くの人が閲覧可能となり、個人への被害や名誉棄損へ繋がる可能性がある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) インターネット上の差別書き込み等のモニタリングを行い、差別書き込み等の削除要請をすることにより被害者の保護と差別の再生産防止につなげる。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・インターネット上の差別書き込み等をモニタリングし、発見した場合はプロバイダ等へ削除要請を行う。 ・京都府主催の会議への出席等による情報収集を行う。 ・インターネットモニタリングに関する研修会等への参加。									
対象者	市民				対象者数	75,000		単位あたりコスト	0.0	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	73		84		0		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		73		84		0		0					
予算財源内訳	① 一般財源	73		84		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	10		△ 5									
	② 配当予算	83		79									
	③ 執行額	64		72									
	④ 執行率	77.1%		91.1%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.22	/	0.21	0.23	/	0.21	/					
	② 概算人件費	2,348		2,428									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,412		2,500									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料		
					10								

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	件	0	0	1			
		目標値		40	40	40	—	—	
	削除要請件数	達成度	%	0%	0%	3%	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	4	39	34			
	モニタリング実施回数	当初見込		—	39	44	—	—	
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容① (アクティビティ)	インターネット掲示板(4サイト)のモニタリングを職員の輪番制でシフトを組み、実施。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・インターネット掲示板(4サイト)のモニタリングを職員の輪番制でシフトを組み、実施することができた。新年度当初は職員の体制がうまく組めず、全体の活動実績としては目標を下回ったが、7月以降～年度末はほぼ毎週実施することができた。その中で、本市に関する差別と思われる書込みを発見し、1件削除要請を実施することができた。 ・インターネット上の差別書込みは手法や表現が変化することも多いため、最新の情報を把握する必要がある。また書込みに差別性があるかどうかの判断力の向上も必要である。	
現状の課題 に対する 改善策	・インターネットモニタリングのシフトはなるべく早く年度当初から組み、年度を通じて毎週欠かさず取り組めるようにする。 ・全国自治体が参加するインターネットモニタリング会議へ積極的に参加し、全国的なモニタリングの動向や他自治体の取組み手法について情報を得て、本市でも取り入れられないか検討を進める。 ・府の研修会等にも積極的に参加し、日々変化する手法や表現を見極める判断力の向上を図る。 ・これまでの本市におけるインターネットモニタリングの取組みや経験を「(仮称)福知山市インターネット上の誹謗中傷や差別等の防止及び被害者支援等に関する条例」策定へも生かし検討していくため、令和7年度より「ネット上の人権侵害及び被害者支援に関する条例検討事業」へ統合を行う。	

1 事業属性

事業名	ネット上の人権侵害及び被害者支援に関する条例検討事業							事業コード 030101992401			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち				政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造				
	施策名	2 人権を尊重した地域生活の確立						施策コード	312		
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室				所属長	四方 幸生				
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	112	頁
計画期間	開始年度	令和6年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	人権施策推進計画			R7現在の状況	他事業を統合	
根拠法令等	情報流通プラットフォーム対処法、障害者差別解消推進法、部落差別解消推進法、ヘイトスピーチ解消推進法、福知山市人権尊重推進条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	人権施策推進計画事業、インターネットモニタリング事業										

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 本市でも従来から差別書込みに関してインターネットモニタリング等に取り組んでいるが、全国的にインターネット上での誹謗中傷や差別等の人権侵害が問題となっている。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 差別書込みへの取組みだけでなく、誹謗中傷も含めた、幅広いインターネット上の人権侵害の防止について取り組む必要がある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 福知山市人権尊重推進条例の目的であるすべての人の人権が等しく尊重された社会の実現をより実効的に推進するため、「(仮称)福知山市インターネット上の誹謗中傷や差別等の防止及び被害者支援等に関する条例」の制定を行う。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 有識者会議、人権問題協議会の実施 条例の骨子案の作成 パブリックコメントの実施					
対象者	市民		対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等						
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	報償費	100	第1回有識者会議 委員報償			
	旅費	88	第1回有識者会議 委員旅費			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0		0		873		0				
	② 補正予算	0		868		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0						
小計(①～③)		0		868		873		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		868		810		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		63		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		△ 654								
	② 配当予算	0		214								
	③ 執行額	0		188								
	④ 執行率			87.9%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員・会計年度任用職員)	0.00	/	0.00	0.03	/	0.00	/				
	② 概算人件費	0		240								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		428								
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称			種類			実績金額			決算附属資料		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	—	—	
	定性的評価	目標値	—	—	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	—	—	1					
	有識者会議の開催	当初見込		—	—	1	3	—			
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
活動内容① (アクティビティ)		弁護士、大学教授等5名で組織する有識者会議を開催し、最新の知見や専門的な意見をいただく。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	—	—	—					
	削除要請件数 (R4～R6年度指標については、統合前の「インターネットモニタリング事業」に記載)	目標値		—	—	—	30	—			
			達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0%	#VALUE!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	—	—	—					
	モニタリング実施回数 (R4～R6年度指標については、統合前の「インターネットモニタリング事業」に記載)	当初見込		—	—	—	47	—			
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
活動内容② (アクティビティ)		インターネット掲示板(4サイト)のモニタリングを職員の輪番制でシフトを組み、実施。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	- 令和6年度は情報法や憲法などの分野の有識者の方々に構成される有識者会議を1回開催し、専門的及び総合的な立場から意見をいただくことができた。会議では、インターネット教育に関する市の取組みの現状や、関係機関の洗い出しなどを、本市の現在地を整理・調査する必要性が見えてきた。 【定性的評価】目標：R7年度に条例を制定
現状の課題 に対する 改善策	- 令和7年度は庁内調査チームを立ち上げ、人権推進室だけでなく他課と共に、市の現状整理・調査を含め、条例の制定に向けた検討を進める。 - 庁内調査結果も踏まえながら、他市の事例や国の動向も研究をあわせて進め、本市として制定する条例について、有識者会議での検討を行う。 - 令和7年度よりインターネットモニタリング事業を統合 - 人権推進室ですでに取り組んでいるインターネットモニタリングを継続し、被害者の保護と差別の再生産を防ぐ取組みを引き続き進めつつ、条例の検討にも生かしていく。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	人権施策推進計画・男女共同参画計画策定事業										事業コード	030101992404				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造								
	施 策 名	2 人権を尊重した地域生活の確立							施策コード	312						
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室					所属長	四方 幸生								
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	112		頁
計画期間	開始年度	令和6年度		終了予定年度	令和6年度		関連計画名	第4次福知山市男女共同参画計画「はばたきプラン2021」			R7現在の状況		廃止/休止			
根拠法令等	男女共同参画社会基本法・女性活躍推進法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・我が国では、1985年に雇用における男女差別を禁止し、女性の就業機会を拡大させるために「男女雇用機会均等法」を制定した。また1999年には、社会全体で男女が対等に参画できるよう、国・地方自治体・企業に取組を求める「男女共同参画社会基本法」が制定された。 ・政府は「2020年までに指導的地位に女性が占める割合を30%にする」と目標を設定するが未達成となっている。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・世界経済フォーラムが発表した各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数において、日本の総合スコアは146か国中118位であり、特に「政治」と「経済」分野での男女格差が課題であり、先進国の中で低い順位にある。よって、本市も福知山市男女共同参画推進条例及び福知山市男女共同参画計画はばたきプランに基づき、男女共同参画社会の実現に向けて市民とともに取組を進めていく必要がある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・本市では、平成18年10月1日から「福知山市男女共同参画推進条例」を施行しており、互いを尊重する人権文化の創造や、「共に幸せを生きる」共生社会の実現をめざし、具体的な取組を推進するため、「第4次福知山市男女共同参画計画はばたきプラン2021」を見直し、市の実情に合った後期計画の策定に資する基礎資料とするために、男女共同参画に関する意識調査を実施する。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○令和6年度男女共同参画に関する意識調査を実施する(5年毎に実施、前回調査は令和元年度)。 ・調査対象者:市内在住の16歳以上の市民(無作為抽出)1600人 ・調査期間:令和6(2024)年9月4日(水)から令和6(2024)年度9月30日(月)まで ・調査方法:郵送による配布、郵送またはWebによる回答									
対象者	市民				対象者数	75,000		単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算		0		2,965		0		0
	② 補正予算		0		0		0		0
	③ 繰越予算		0		0		0		0
	前年度繰越		0		0		0		0
	次年度繰越		0		0		0		0
小計(①～③)			0		2,965		0		0
予算財源内訳	① 一般財源		0		1,483		0		0
	② 国支出金		0		0		0		0
	③ 府支出金		0		1,482		0		0
	④ 地方債		0		0		0		0
	⑤ その他特財		0		0		0		0
決算情報	① 流充用額		0		0				
	② 配当予算		0		2,965				
	③ 執行額		0		2,946				
	④ 執行率				99.4%				
人概工算	① 従事職員数 (正職員/全庁年度任用職員)	0.00	/	0.00	0.70	/	0.15	/	/
	② 概算人件費		0		6,020				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)			0		8,966				
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称			種類		実績金額		決算附属資料	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	%	－	－	51.2				
		目標値		－	－	35	－	－		
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	146%	#VALUE!	#VALUE!		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	件	－	－	820				
		当初見込		－	－	560	－	－		
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
		・市内在住の16歳以上の市民(無作為抽出)1600人を対象に男女共同参画に関するアンケート調査を実施。 ・調査期間: 令和6(2024)年9月4日(水)から令和6(2024)年度9月30日(月)まで ・調査方法: 郵送による配布、郵送またはWebによる回答								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	・意識調査の回収率が51.2%と、前回調査回収率31.4%に比べて上昇した。今回より従来の郵送回答に加えてWebによる回答方法を取り入れたことが回収率の上昇につながったと考える。 ・年代別回収率は、熟年層(60歳以上)が52.3%、中年層(30から59歳)が37.7%で9割を占め、若年層は8.8%にとどまった。5年後の調査では、若年層からの回収率を向上させる工夫が必要である。	
現状の課題 に対する 改善策	・今回の意識調査の結果と男女共同参画に関わる社会情勢の変化を反映させ、「第4次福知山市男女共同参画計画はばたきプラン2021後期計画」を策定し、性別等に関わらずあらゆる人々が活躍することができる男女共同参画社会をめざす。 ・令和11年度には、福知山市男女共同参画に関する意識調査を実施し、翌年に「第5次福知山市男女共同参画計画はばたきプラン2031」を策定するための基礎資料とする。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	人権ふれあいセンター管理事業										事業コード	030104730105				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施 策 名	2 人権を尊重した地域生活の確立								施策コード	312					
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室						所属長	林 慶也							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	04 社会福祉施設費		会計	01 一般会計		決算附属資料	123		頁
計画期間	開始年度	昭和49年度		終了予定年度	令和14年度		関連計画名	福知山市人権施策推進計画				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	社会福祉法、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法、福知山市人権尊重推進条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 学校・地域・関係施設の情報館交換の場(運営委員会や保・小・中・会館・児童センター連携会議)を設け、地域課題の把握や子ども、高齢者・障害のある人などへの支援に取り組む地域づくりの場を提供する。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・施設の老朽化による修繕費用が増加傾向にある。 ・光熱水費等の高騰により施設のランニングコストが上昇している。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 地域社会の中で、市民の福祉の向上や人権啓発の推進、市民交流の拠点となる地域に密着し開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行う。 人権を尊重した地域生活の確立に向けて、人権ふれあいセンターの適正な維持管理を図るとともに、多くの住民交流の場として相互理解を推進する。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・高齢者の生きがいづくり、地域の交流が深まる取り組みや見守り活動を通して地域住民の福祉向上を担っている。 ・地域の関係機関と運営委員会などで密接に連携し、地域情報や意見交換をすることで安心して暮らせるまちづくりを推進している。 ・貸館活動を通じて地域のサークルが利用したり、高齢者が集える場を提供している。 ・京都府隣保館連絡協議会、京都府北部隣保館・児童館連絡協議会への参加。 ・施設の老朽化している箇所の修繕や施設運営に係る費用の負担。									
対象者	市民				対象者数	75,000		単位あたりコスト	0.4	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	6,414		6,430		5,307		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		6,414		6,430		5,307		0					
予算財源内訳	① 一般財源	3,589		3,598		2,782		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	2,817		2,824		2,519		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	8		8		6		0					
決算情報	① 流充用額	664		1,526									
	② 配当予算	7,078		7,956									
	③ 執行額	6,989		7,956									
	④ 執行率	98.7%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	1.28	/	3.60	1.20	/	3.65			/			
	② 概算人件費	20,320		19,820									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		27,309		27,776									
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	電柱占用料(人権ふれあいセンター等)		種類	民生使用料		実績金額	66		決算附属資料	7		頁
		隣保館運営等事業補助金			民生費府補助金			1,904			22		
		地域交流活性化支援事業補助金			民生費府補助金			21			22		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	477	425	475			
	主催事業数	目標値		500	500	500	500	500	
		達成度	%	95%	85%	95%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	5644	5748	5887			
	主催事業参加者数	当初見込		8000	8000	8000	8000	8000	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市民に対して、人権ふれあいセンターの実施している事業(人権講演会やデイサービス事業)に参加してもらうことで、豊かな感性を育み、差別をなくしていこうとする仲間づくりと実践力の体得を目指して施設の維持・運営を行う。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	・人権意識の醸成や福祉の向上を図るために不可欠な施設として、維持管理や関連業務に取り組んでいる。 ・高齢者や障害のある人など、各館の特色を生かした取り組みを進めており、地域における人権と福祉の拠点としての役割を果たしている。 ・地域内にある個々の施設や関係機関、組織が別々に活動するのではなく、有機的に連携をするための役割を会館が果たしており、地域課題について共有しやすい状況が生み出されている。 ・施設の老朽化による小修繕の増加。
現状の課題に対する改善策	
	・施設の修繕については、優先順位をつけて行っていく必要がある。その際に、LED化等にも同時に取り組んでいく。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	人権ふれあいセンター運営事業(地域福祉・地域交流・人材育成)										事業コード	030104730210			
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造						
	施 策 名	2 人権を尊重した地域生活の確立								施策コード	312				
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室						所属長	林 慶也						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	04 社会福祉施設費		会計	01 一般会計		決算附属資料	124・125	頁
計画期間	開始年度	平成15年度		終了予定年度	令和14年度		関連計画名	福知山市人権施策推進計画				R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	社会福祉法、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法、福知山市人権尊重推進条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 人権講演会や研修会などを通じて市民の人権感覚の醸成、差別を許さない仲間づくりを目指す。 地域に根差した事業を実施することで、住民文化向上・自主的な地域力の育成に取り組む。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・人権ふれあいセンターで実施している事業をより広く周知してもらう必要がある。 ・事業実施に際して中学生、高校生、大学生など若年層に参加者やボランティアとして参加してもらい、幅広い年代での交流と活性化を図り、自主的な地域力を育成する。 ・関係部署、関係機関との連携をより密にすることで、相談等への対応力を向上させる。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 人権ふれあいセンター等の周辺地域住民の高齢者及び障害のある人を対象に、介護予防・地域交流を推進するためデイサービス事業を実施する。 人権を尊重した地域生活の確立に向けて、出会いふれあいの場を設け、地域の交流と活性化を図り、自主的な地域力を育成する。 ひとを大切に、あらゆる人権問題について、差別を許さず、なくしていく意欲と実践力を持った人材の育成を図る。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・施設周辺地域の高齢者や障害のある人を対象とした給食デイサービス事業を実施。給食はNPO法人に委託をして効率的な事業運営を行っている。その他にもデイサービス事業として介護保険サービスの対象とならない高齢者に対して、高齢者福祉課と連携した貯筋体操教室や健康医療課と連携して健康相談、健康教室等に取り組んでいる。 ・市民を対象として講演会や研修会を実施することで、人権感覚の醸成を目指す。 ・人権強調月間や人権週間に合わせて人権講演会などの啓発活動の実施。・介護、保険、医療、生活保護などの相談業務を行い、担当課へ相談者をつなぎ市に市									
対象者	市民				対象者数	75,000		単位あたりコスト	0.6	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,431		4,753		4,229		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		4,431		4,753		4,229		0					
予算財源内訳	① 一般財源	1,253		1,573		1,306		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	2,377		2,579		2,322		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	801		601		601		0					
決算情報	① 流充用額	△ 109		△ 719									
	② 配当予算	4,322		4,034									
	③ 執行額	3,891		4,034									
	④ 執行率	90.0%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	2.09	/	7.80	2.29	/	7.50	/					
	② 概算人件費	38,560		39,320									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		42,451		43,354									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	隣保館運営等事業補助金		種類	民生費府補助金		実績金額	1,638		決算附属資料	22	頁
			人権問題啓発事業補助金			民生費府補助金			38			22	
			地域交流活性化支援事業補助金			民生費府補助金			429			22	
			文化祭等模擬店負担金(人権ふれあいセンター)			雑入			57			46	
			地域福祉事業デイサービス利用者負担金			雑入			404			47	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。 デイサービス利用者数		成果実績	人	781	925	803				
		目標値		1350	1350	1350	1350	1350		
		達成度	%	58%	69%	59%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。 デイサービス開催回数		活動実績	回	29	48	48				
		当初見込		48	48	48	48	48		
活動内容① (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 主に施設周辺の高齢者を対象として、給食デイサービス事業等を実施している。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。 		成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。 		活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・人権ふれあいセンターの取り組みは、地域に根差した事業として住民にも認知され、交流が図れるなど事業目的は達成されている。 ・高齢化が進む中、周辺地域を含めて高齢者相互の交流の場を確保できるとともに、各種健康プログラムにより健康と生きがいを図る介護予防に寄与している。 ・講演会や研修事業の実施により、豊かな感性と人を大切にする心を育み、差別をなくしていこうとする仲間づくりと実践力を高める人材育成が出来た。 ・各種事業は国で定められている「隣保館設置運営要綱」に基づき行っており、福祉と人権の拠点施設として事業を展開しているが、その基本である同和問題の解決を目指す人材や組織の育成が大切とされている。各種講演会や研修事業は生きることの喜びを体得する場であり、単に教養的な内容ではなく地域コミュニティの活性化につながる事業としても実施している。今後もあらゆる差別を見逃さない、人権感覚を持った人材の育成を図るために継続が必要である。	
現状の課題 に対する 改善策		
	・人権ふれあいセンターで実施している事業について、市のHPや広報ふくちやまを活用して、より多くの市民への周知や参加を促すことでより高いレベルでの事業目的が達成される。 ・中学生、高校生などの若い世代にボランティアなどで事業に参加してもらうことで、差別を許さない人材育成に繋げていける。 ・相談業務での担当課との情報共有・連携強化により、人権ふれあいセンターでの相談体制を強化することで市民の課題解決繋がる。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	識字学級開設事業										事業コード	030104730215				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施 策 名	2 人権を尊重した地域生活の確立								施策コード	312					
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室						所属長	四方 幸生							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	04 社会福祉施設費		会計	01 一般会計		決算附属資料	125		頁
計画期間	開始年度	平成12年度		終了予定年度	令和14年度		関連計画名	福知山市人権施策推進計画				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 障害者差別解消推進法 ヘイトスピーチ解消法 部落差別解消推進法 福知山市人権尊重推進条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 部落差別の結果、学習機会が奪われた人の学習や交流の場を確保し、様々な世代間との交流等の中で市の責務として部落差別の解消を図る必要がある。											
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・幅広い世代間交流 ・全世代へ平等な学習機会の提供 ・参加者の高齢化											
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 部落差別や貧困その他の社会的境遇・要因の中で学習権が保障されなかった人に対して、文字や教育を取り戻す取り組みを通して、教育の重要性や部落差別などを学び、自立と自己実現を図る取り組みを推進し、互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造につなげる。											
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・学習教室の実施により学習者の非識字を解消し、生きがいが自己実現の獲得につながる。 ・隔年の全国識字経験交流会に参加し、識字学級の活動の活性化を図る。 ・幅広い世代間交流をする。											
対象者	該当者				対象者数		10		単位あたりコスト		148.7	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (											

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	151		197		97		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		151		197		97		0						
予算財源内訳	① 一般財源	89		135		49		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	62		62		48		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		10										
	② 配当予算	151		207										
	③ 執行額	92		207										
	④ 執行率	60.9%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.11	/	0.00	0.16	/	0.00	/						
	② 概算人件費	880		1,280										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		972		1,487										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	地域交流活性化支援事業補助金		種類	民生費府補助金		実績金額	40		決算附属資料	22		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。 識字教室参加人数		成果実績	人		233	262	264			
		目標値			240	240	240	240	240	
		達成度		%	97%	109%	110%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。 開催回数		活動実績	回		22	23	22			
		当初見込			24	24	24	24	24	
活動内容① (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 識字教室に参加する人数を適切な人数で確保することにより、教室が活性化し、参加者の交流が深まり、部落差別解消につなげる。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。 		成果実績								
		目標値								
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。 		活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	識字教室をとおして、生きる力を高め、部落差別解消に向けた意欲につなげることができ、学習権が保障されなかった全ての人に対して、非識字の解消と生きがい対策・自己実現につながる取組として有効であると考えている。 高齢化により学習者も少なくなっているが、毎月2回の定期的な交流の中で取り組んだ学習活動等の成果を地域行事などの場で発表することで、部落差別の解消に向け啓発できている。	
現状の課題 に対する 改善策	今後については、進め方を検討する余地はあるが、部落差別によって読み書きができないことを言い出しにくい状況もあることから新たな学習者が増えにくい状況も現実にある。 部落差別や地域の実態を非識字者とともに学ぶ機会となるため、現在の形で継続しながら幅広い参加を呼び掛けるとともに、現在の参加者、関係者の意見も聴きながら検討をし進めていく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	教育集会所管理事業										事業コード	030104730235				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施 策 名	2 人権を尊重した地域生活の確立								施策コード	312					
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室						所属長	林 慶也							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	04 社会福祉施設費		会計	01 一般会計		決算附属資料	125		頁
計画期間	開始年度	平成元年度		終了予定年度	令和14年度		関連計画名	福知山市人権施策推進計画					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市教育集会所条例 福知山市教育集会所条例施行規則 福知山市人権尊重推進条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・福知山市教育集会所条例、福知山市教育集会所条例施行規則に基づき15か所設置 ・設置から40年以上経過している建物が多くあり、大半の建物が老朽化している状況である。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・老朽化により維持管理費の確保が課題 ・安全安心な施設管理にあたり、計画的な改修が必要					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 啓発・教育活動を通して人権学習の推進を行い、差別を許さない人材の育成と地域の交流の拠点となる教育集会所の管理運営を行う。人権を尊重した地域の確立をめざす。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・教育集会所の維持管理(15か所)					
対象者	福知山市民・福知山市在勤者		対象者数	83,000	単位あたりコスト	0.5
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	21,064		19,935		16,768		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		21,064		19,935		16,768		0					
予算財源内訳	① 一般財源	16,531		14,299		12,023		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	4,462		5,361		4,460		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	71		275		285		0					
決算情報	① 流充用額	2,713		586									
	② 配当予算	23,777		20,521									
	③ 執行額	21,405		20,521									
	④ 執行率	90.0%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.96	/	3.50	0.95	/	3.60	/					
	② 概算人件費	17,480		17,680									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		38,885		38,201									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	隣保館運営等事業補助金		種類	民生費府補助金		実績金額	4,332		決算附属資料	22	頁
			地域交流活性化支援事業補助金			民生費府補助金			51			22	
			旧三岳小学校改修施設光熱水費			雑入			261			43	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	人	28057	33171	35101			
	教育集会所の利用者数		目標値		35000	35000	35000	35000	35000	
			達成度	%	80%	95%	100%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	人	445	553	559			
	主催事業回数		当初見込		500	600	600	600	600	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	教育集会所に集う人数を増やすことで、地区内の交流が活性化し人権啓発につながっていく。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績							
			目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績							
			当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	・地域に根ざした施設として、住民の交流活動や人権啓発活動の拠点として活用・利用していただいていることは一定の成果と考えている。 ・教育集会所の施設が老朽化しており、修繕が必要なところが多く、今後は修繕費の増加が見込まれる。								
現状の課題 に対する 改善策	・差別を許さない人材の育成と地域交流の拠点という施設として人権講座や交流事業、貸館などの施設利用が安全に行えるように適切な維持管理を行っていく。 ・施設の老朽化については、公共施設マネジメントを踏まえながら、各教育集会所の特徴や地元の意向を充分考慮したうえで必要な修繕を実施し、人権施設のあり方、事業の進め方を含めて検討していく。修繕費については、計画的に予算要望していく。 ・毎月実施しているグループ会議(各集会所管理人会議)を引き続き実施し、充実した教育集会所の運営に取り組めるよう研鑽を図る。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	教育集会所学習活動事業										事業コード	030104730236				
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち						政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造							
	施 策 名	2 人権を尊重した地域生活の確立								施策コード	312					
事業担当	所属	021200 市民生活部人権推進室						所属長	四方 幸生							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	04 社会福祉施設費		会計	01 一般会計		決算附属資料	125		頁
計画期間	開始年度	平成元年度		終了予定年度	令和14年度		関連計画名	福知山市人権施策推進計画				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	福知山市教育集会所条例 福知山市教育集会所条例施行規則 福知山市人権尊重推進条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 福知山市教育集会所条例において、教育集会所は、地域の人権推進施設として、同和問題などあらゆる人権問題の解決に向け、人権教育・啓発活動、文化活動、住民交流活動などを実施することとしている。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・教育集会所で行う人権講演会や各種教室などの学習活動に参加する人数の減少										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 人権を尊重した地域生活の確立に向けて、人権教育・啓発、文化活動、住民交流等を推進する。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 主に各教育集会所において、人権講演会、各種教室、住民交流に取り組む。 【主な教室として】 健康教室、料理教室、人権講演会、デイスサービス、貯筋体操、体操教室、剣舞教室、書道教室、手芸教室、筆文字パステルアート、ヨガ教室、サロン、コーラス教室、夏休み学習会など										
対象者	福知山市民・福知山市在勤者					対象者数	83,000		単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	2,016		2,016		1,475		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		2,016		2,016		1,475		0						
予算財源内訳	① 一般財源	926		926		678		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	1,090		1,090		797		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		△ 550										
	② 配当予算	2,016		1,466										
	③ 執行額	1,520		1,466										
	④ 執行率	75.4%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.46	/	1.50	0.45	/	1.30			/				
	② 概算人件費	7,880		7,240										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		9,400		8,706										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	隣保館運営等事業補助金		種類	民生費府補助金		実績金額	135		決算附属資料	22		頁
			地域交流活性化支援事業補助金			民生費府補助金			492			22		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	3692	4876	5452			
		目標値		5000	5000	5000	5000	5000	
	主催事業参加者数		達成度	%	74%	98%	109%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	445	553	559			
		当初見込		500	500	500	500	500	
	主催事業回数								
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	その地区の特色に応じた学習活動を実施することで、住民交流を推進し、人権を尊重した地域生活の確立を図る。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	主催事業回数								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	・地域に根ざした施設として、住民の交流活動や人権啓発活動の拠点として、地域の実情に応じて講座を開催し、一定の参加者があった。 ・今後は事業の精査をする必要もあり、住民の方が集まりやすいような事業の実施も含めて考えていく必要がある。 ・利用者の固定化								
現状の課題 に対する 改善策									
	・地域の実情に応じ、参加者の関心や世代に合わせたテーマを設定し、回数や内容を見直すことで、参加しやすい講座運営を行い、より多くの住民が関わる交流活動へとつなげる。 ・人権啓発活動の拠点として適切な事業運営に努めていく。								

(単位：千円)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	%	91	91	91			
	住宅新築資金償還率	目標値		91	91	91	91	91	
			達成度	%	100%	100%	100%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	320	380	650			
	償還者訪問回数	当初見込		300	250	250	400	400	
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容① (アクティビティ)	償還者に対して電話や訪宅により償還を促す。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	・着実に償還が進んでおり、債券件数も減少してきているところであるが、対象者との電話や面談は非常に重要な業務となっており継続して取り組んでいる必要がある。面談等により滞納分の支払いがされることも多々あるため今後も必要な事業である。 ・課題は、対象者の高齢化や生活状況などにより償還が困難となっている部分がある。								
現状の課題 に対する 改善策	・管理組合において、債権管理・回収を適切に進めていく中で、回収できない債権については債権放棄等の手続きも取られている。 ・管理組合について、令和8年度に解散を予定されていたが債権回収の状況などから令和13年度まで存続することとなった。引き続き連携を密に取りながら債権管理や回収を進めていく。 ・令和7年度より、「一戸建住宅・住宅新築資金等管理事業」へ統合する。								

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	戦傷病者戦没者遺族等援護事業							事業コード	030102450120					
政策体系	基本政策	3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち					政策目標	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造						
	施策名	2 人権を尊重した地域生活の確立						施策コード	312					
事業担当	所属	150200 健康福祉部社会福祉課					所属長	高山 明子						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉支援費		会計	01 一般会計	決算附属資料	118・119	頁
計画期間	開始年度	昭和40年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－			R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	戦傷病者特別援護法、戦傷病者戦没者遺族等援護法、戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法、戦没者等の妻に対する特別給付金支給法、戦没者の父母に対する特別給付金支給法、戦傷病者の妻に対する特別給付金支給法、戦傷病者特別援護法													
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()													
関連事業	－													

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 戦没者・戦傷病者に敬意を払うとともに、戦争の悲劇を繰り返さないために、そして戦争を風化させないため、式典を行っている。 国の施策に伴い、本市の戦没者遺族の弔慰金や給付金などの手続きの窓口となっている。 また、福知山市遺族会と連携を取り、その運用の一部を補助している。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 遺族会は高齢化により人数が減ってきており、戦争の記憶をどう後世に伝えるのか模索している。 本市も連携して考えていくところである。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・戦傷病者遺族等に、補償の精神に基づいて援護する。 ・援助支援を行うことで、恒久平和に対する意識の高揚と啓発を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・福知山市戦没者追悼式の開催による世界恒久平和へ向けた啓発 ・戦没者の家族・戦傷病者及びその家族等に対する援護事務 ・戦没者の遺族に対する第11回特別弔慰金の国債の交付及び第三十回特別給付金国庫債券の受領と国債の交付 ・京都府戦没者追悼式及び全国戦没者追悼式の参列支援 ・福知山市遺族会の運営支援					
対象者	本市在住の戦没者戦傷病者の遺族		対象者数	2,892	単位あたりコスト	2.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	福知山市遺族会、京都府花商協同組合福知山支部、舞台照明CREW・SOLOOK、つじもと工芸社、株式会社オカムラ					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	報償費	10	謝礼	負担金補助及び交付金	250	
	旅費	31	普通旅費			
	需用費	174	消耗品費・燃料費・印刷製本費・電気料			
	役務費	162	郵送料・運搬料・手数料			
	委託料	972	運転代行業務委託、福知山市戦没者追悼式式典会場生花装飾委託業務			
	使用料及び賃借料	165	施設使用料・高速道路通行料・機器借上料			

区 分		R5(評価前年度)	R6(評価年度)	R7(本年度)	R8(要求年度)
予算情報	① 当初予算	1,941	1,805	1,797	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)		1,941	1,805	1,797	0
予算財源内訳	① 一般財源	1,861	1,725	1,717	0
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	80	80	80	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	1,941	1,805		
	③ 執行額	1,714	1,764		
	④ 執行率	88.3%	97.7%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.35 / 0.65	0.25 / 0.70	/	/
	② 概算人件費	4,620	3,960		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,334	5,724		

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	援護事務	種類	民生費府委託金	実績金額	62	決算附属資料	28	頁
				27					

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人	167	219	226			
		目標値		200	250	250	250	250	
	福知山市戦没者追悼式参加者数		達成度	%	84%	88%	90%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	736	736	736			
	戦没者遺族会会員数	当初見込		1100	1100	1100	1100	1100	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
遺族会の運営事務の補助									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	・福知山市戦没者追悼式の開催により世界恒久平和へ向けた啓発を行うとともに、戦没者の家族、戦傷病者及びその家族等に対する援護事務により福祉の向上に努めた。 ・高齢化により遺族会の運営が危ぶまれており、市の事務負担が増加傾向にあるため、可能な範囲での自立運営を目指して後方支援を行う。								
現状の課題 に対する 改善策	・福知山市遺族会は高齢化により会員数も減少傾向にあるため、依然として会員からの遺族会の運営の支援ニーズが高い。可能な限り事務負担を軽減しながら遺族会の内部体制整備について助言しつつ、支援を継続する。								